



平成22年3月期第1四半期決算短信

平成21年 7月31日
上場取引所 東 大

上場会社名 大丸エナウィン株式会社
コード番号 9818 URL <http://www.gas-daimaru.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹川 卯三郎
問合せ先責任者(役職名) 財務部長 (氏名) 明石 賢治
四半期報告書提出予定日 平成21年 8月11日
配当支払開始予定日 —

TEL 06-6685-5106

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第1四半期 | 3,213 | △32.1 | 237 | △6.2 | 250 | △5.9 | 132 | 10.3 |
| 21年3月期第1四半期 | 4,734 | — | 253 | — | 265 | — | 120 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | |
|-------------|-------------|---|--------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 22年3月期第1四半期 | 16.50 | — | — | — |
| 21年3月期第1四半期 | 14.96 | — | — | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|----------|--|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 | 銭 | |
| 22年3月期第1四半期 | 9,737 | 7,302 | 7,302 | 7,302 | 75.0 | 909.20 | — | |
| 21年3月期 | 10,217 | 7,199 | 7,199 | 7,199 | 70.5 | 896.39 | — | |

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 7,302百万円 21年3月期 7,199百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | | |
|------------|----------|-------|-------|------|-------|---|
| | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 期末 | 年間 | |
| (基準日) | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 21年3月期 | — | 5.50 | — | 5.50 | 11.00 | — |
| 22年3月期 | — | — | — | — | — | — |
| 22年3月期(予想) | — | 5.50 | — | 5.50 | 11.00 | — |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|-------------|--------|-------|------|------|------|------|-------|------|------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 第2四半期連結累計期間 | 6,900 | △22.7 | 225 | 0.2 | 246 | 0.2 | 110 | 18.7 | 13.70 | — |
| 通 期 | 15,100 | △13.7 | 660 | 16.6 | 700 | 14.5 | 350 | 10.1 | 43.57 | — |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
[(注)詳細は、4ページの[定性的情報・財務諸表等] 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 (四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 8,046,500株 | 21年3月期 | 8,046,500株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 14,490株 | 21年3月期 | 14,490株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 8,032,010株 | 21年3月期第1四半期 | 8,032,222株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の実績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、売上高が前年同四半期比32.1%減少した理由は、LPガスのFOB価格が50%以上下落したことが主因であります。

[定性的情報・財務諸表等]

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国金融市場の混乱に端を発する世界経済の景気後退の影響が長引いたため企業収益は落ち込み、個人消費や設備投資も低調に推移いたしました。

このような状況下におきまして、当社グループの売上高は、リビング事業部 2,735百万円、医療・産業ガス事業部 318百万円、アクア事業部 159百万円、合計3,213百万円(前年同四半期比32.1%減)となりました。

前年同四半期売上高に比べ1,521百万円の減収となりました内訳は、リビング事業部においてLPガスのFOB価格が50%以上値下がりに加え、景気悪化に伴う出荷量の減少もあったため1,473百万円減少しました。医療・産業ガス事業部も在宅酸素は増収となりましたが、産業ガス・機材の低迷で86百万円減少しました。アクア事業部はユーザー件数の増加に連動して38百万円増加いたしました。

利益面につきましてはLPガスの売上高は大幅に減少しましたが、当社はLPガスの利幅を確保することに注力して収益確保に努めた結果、減益額が38百万円に止まり売上総利益1,459百万円(前年同四半期比2.6%減)を計上しました。

また販売費及び一般管理費においてものれん償却額、減価償却費等の減少がありましたので1,221百万円(前年同四半期比1.8%減)となり、営業利益は237百万円(前年同四半期比6.2%減)となりました。

営業外収益13百万円、営業外費用1百万円を加減算した経常利益は250百万円(前年同四半期比5.9%減)となり、法人税、住民税及び事業税等控除後の四半期純利益は、役員退職慰労引当金の支給による法人税額等の軽減要因がありましたので、12百万円増益の132百万円(前年同四半期比10.3%増)を計上いたしました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は9,737百万円となり、前連結会計年度末に比べ480百万円の減少となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少537百万円と、のれんの増加153百万円であります。

負債は2,434百万円となり、前連結会計年度末に比べ583百万円の減少となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少461百万円と、未払法人税の減少138百万円であります。

純資産は7,302百万円となり、前連結会計年度末に比べ102百万円の増加となりました。この主な要因は、四半期純利益132百万円による増加と、配当金の支払44百万円による減少であります。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は2,008百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは107百万円の資金の増加にとどまりました。この主な要因は税金等調整前四半期純利益230百万円、のれん償却額62百万円の収入と、前期分の法人税等の支払い158百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは202百万円の資金が減少しました。この主な要因は有形固定資産の取得が69百万円あったことと無形固定資産の取得が132百万円あったためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主な要因として納税および賞与資金として150百万円の短期借入を実行し、60百万円の返済と前期の期末配当金の支出41百万円があったため、45百万円の資金の増加となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想数値は平成21年5月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を主要商品に限定し、部品等については帳簿価格を使用して実地棚卸を省略する合理的な方法により算定しております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

4 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、当第1四半期連結会計期間において経営環境や一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前回使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| (単位 千円) | | |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,008,883 | 2,057,565 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,895,863 | 2,433,473 |
| 商品及び製品 | 328,683 | 313,347 |
| その他 | 254,893 | 327,701 |
| 貸倒引当金 | △ 9,500 | △ 11,774 |
| 流動資産合計 | 4,478,822 | 5,120,314 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,025,137 | 1,070,798 |
| 土地 | 1,548,766 | 1,548,766 |
| その他(純額) | 1,017,286 | 982,616 |
| 有形固定資産合計 | 3,591,190 | 3,602,181 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,124,294 | 971,026 |
| その他 | 84,094 | 89,696 |
| 無形固定資産合計 | 1,208,388 | 1,060,723 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 245,517 | 221,099 |
| その他 | 237,120 | 237,413 |
| 貸倒引当金 | △ 23,775 | △ 23,775 |
| 投資その他の資産合計 | 458,862 | 434,738 |
| 固定資産合計 | 5,258,440 | 5,097,643 |
| 資産合計 | 9,737,263 | 10,217,957 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,449,646 | 1,910,944 |
| 短期借入金 | 90,000 | - |
| 未払法人税等 | 23,604 | 162,008 |
| 役員賞与引当金 | 5,000 | 24,150 |
| その他 | 470,695 | 486,513 |
| 流動負債合計 | 2,038,945 | 2,583,616 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 115,920 | 217,531 |
| その他 | 279,723 | 216,999 |
| 固定負債合計 | 395,643 | 434,530 |
| 負債合計 | 2,434,589 | 3,018,147 |

| | (単位 千円) | |
|--------------|-------------------------------|--|
| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 870,500 | 870,500 |
| 資本剰余金 | 1,185,972 | 1,185,972 |
| 利益剰余金 | 5,228,278 | 5,139,943 |
| 自己株式 | △ 9,547 | △ 9,547 |
| 株主資本合計 | 7,275,203 | 7,186,868 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 27,470 | 12,941 |
| 評価・換算差額等合計 | 27,470 | 12,941 |
| 純資産合計 | 7,302,674 | 7,199,810 |
| 負債純資産合計 | 9,737,263 | 10,217,957 |

(2) 四半期連結損益計算書

[第1四半期連結累計期間]

(単位 千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 4,734,084 | 3,213,060 |
| 売上原価 | 3,236,226 | 1,753,719 |
| 売上総利益 | 1,497,857 | 1,459,340 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,244,668 | 1,221,937 |
| 営業利益 | 253,189 | 237,403 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 468 | 449 |
| 受取配当金 | 3,723 | 2,928 |
| 受取賃貸料 | 4,361 | 4,315 |
| その他 | 4,990 | 5,957 |
| 営業外収益合計 | 13,544 | 13,651 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 388 | 243 |
| 売上割引 | 637 | 364 |
| その他 | 21 | 417 |
| 営業外費用合計 | 1,047 | 1,025 |
| 経常利益 | 265,685 | 250,028 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 525 | 87 |
| 特別利益合計 | 525 | 87 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 1,918 | 661 |
| 役員退職功労加算金 | - | 19,344 |
| 特別損失合計 | 1,918 | 20,005 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 264,293 | 230,110 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 89,793 | 23,496 |
| 法人税等調整額 | 54,322 | 74,103 |
| 法人税等合計 | 144,115 | 97,599 |
| 四半期純利益 | 120,178 | 132,511 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 264,293 | 230,110 |
| 減価償却費 | 115,155 | 99,010 |
| のれん償却額 | 74,932 | 62,326 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △ 13,355 | △ 19,150 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 4,033 | △ 101,611 |
| 長期未払金の増減額(△は減少) | 393 | △ 2,406 |
| 受取利息及び受取配当金 | △ 4,192 | △ 3,378 |
| 支払利息 | 388 | 243 |
| 有形固定資産除売却損益(△は益) | 1,392 | 573 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 582,632 | 535,336 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △ 14,040 | △ 15,335 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △ 563,619 | △ 461,298 |
| その他 | △ 50,279 | △ 61,237 |
| 小計 | 397,734 | 263,184 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,277 | 3,398 |
| 利息の支払額 | △ 388 | △ 243 |
| 法人税等の支払額 | △ 218,487 | △ 158,350 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 183,136 | 107,988 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △ 131,969 | △ 69,378 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1,570 | 389 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △ 13,871 | △ 132,177 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △ 9,671 | - |
| 貸付けによる支出 | - | △ 2,000 |
| 貸付金の回収による収入 | 970 | 1,130 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 152,972 | △ 202,036 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 150,000 | 150,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | △ 60,000 | △ 60,000 |
| 配当金の支払額 | △ 41,725 | △ 41,597 |
| リース債務の返済による支出 | - | △ 3,036 |
| 自己株式の純増減額(△は増加) | △ 6 | - |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 48,268 | 45,366 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 78,432 | △ 48,681 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,508,327 | 2,057,565 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,586,759 | 2,008,883 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。